

高知県沿岸海岸保全施設景観検討委員会（戸原・長浜工区）を開催

○平成26年8月18日（月）、高知河川国道事務所において「高知県沿岸海岸保全施設景観検討委員会（戸原・長浜工区）」を開催。

○本委員会は、高知県沿岸の海岸堤防等の地震津波対策の設計・施工にあたって、構造物及び周辺景観への配慮、工夫内容について、下記委員より提言、助言をいただくことを目的としている。

委員・重山 陽一郎（高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻 教授）

・原 忠（高知大学 教育研究部 自然科学系 農学部門 教授）

・清水 博（高知市 都市建設部 副部長）

【代理：池野 裕偉（都市建設部 河川水路課課長補佐）】

・平田 幸成（高知県 土木部 副部長）

【代理：中城 盛男（高知県 土木部 港湾・海岸課長）】

・安達 孝実（四国地方整備局 高知河川国道事務所長）

○今回の委員会の審議結果概要は次のとおり。

1. 委員会規約について

「高知県沿岸海岸保全施設景観検討委員会」の規約に基づき、委員長は、重山教授を選出

2. 戸原・長浜海岸堤防改良工事における景観への配慮・工夫内容について

事務局から説明のあった戸原、長浜工区における景観への配慮・工夫事項は、海岸保全施設の液状化対策としての機能を確保しながら、景観および海岸利用に配慮・工夫しており、妥当である。

なお、以下の点については、今後詳細部分に関して配慮・工夫を行うこと。

- ・ 転落防止柵の色は室内と違い、屋外だとかなり明るめな見え方になるため、暗めのグレーまで試し塗りを行いながら色を選定すること。
- ・ 転落防止柵ではさびにくい素材を使う等、景観だけでなく基本的な性能を満足し、かつメンテナンスについても十分に考慮すること。
- ・ ナムラ箇所においては鋼管杭による地震津波対策がイメージできるデザインにて整備を考えているが、採用した鋼管杭工法の説明用のパネル等をつけ、鋼管杭による液状化対策工法を後世にしっかり残すような工夫をして欲しい。
- ・ ナムラ箇所におけるデザインは土木本来の構造をきちんと見せることができるので、きれいに目立つものを作って頂きたい。
- ・ ナムラの箇所付近の側面部が段々と少なくなる箇所等、標準図で表現出来ない箇所においては、端部を自然に擦りつけるといった工夫を施工時に考えて欲しい。

3. その他

南国工区については、他工区と異なり限られた利用形態であることから、会の形態を取らずに個別に相談したいとの提案については、了解。

○今後、頂いた意見・助言等を踏まえ、地震津波対策の設計・施工に配慮していく予定。